

〔狂歌東都花日千兩 日本橋〕

雛室正女

あひ紙の雪を拂へば梅。碗のうるしも匂ふ闇の黒江や

鳥羽玉のやみはあやなし黒江やにうるしの匂ふ夜るの梅碗

松の門鶴子

○按ズルニ、梅碗ハ宇女碗或ハ宇女平盤ト云フ、罈反ノ平盤ナリ、

〔扶桑名處名物集 河内〕三日市驛

彌生庵

三日市やさねかた碗の飯もりもけはひて化けし雀いろ時

〔易林本節用集 津 器財〕燕口

〔節用集大全 三 器財〕燕口

〔書言字考節用集 七 器財〕燕口

〔嬉遊笑覽 二下 器用〕又同集 筑波に十せん位もひをば改めて燕口なる碗のかずく、燕口といふも

古きもの也、ひはわれめをいふ也、

〔和漢三才圖會 三十一 庖厨具〕盃 略 中

平盤 壺盤 壺子

〔物類稱呼 器用 碗 略 中 平 ざら 下總及奥州にて、ひらきといふ、

〔書言字考節用集 七 器財〕碗 皿

〔名産諸色往來 坪皿 平皿 皿

〔物類稱呼 器用 碗 略 中 坪 肥前佐賀にて、のぞきと云、

〔書言字考節用集 七 器財〕小碗

〔男重寶記 四 料理に用る諸道具字盡

猪口